

「防災塾・だるま」7月定例会 議事録

<http://darumajin.sakura.ne.jp>

- ◆日時 : 2019年7月26日(金) 14:15-15:45 司会: 田中 栄治
◆場所 : 横浜市青少年育成センター第一研修室(関内ホール地下2階)
◆出席者 : 池田、植山、荏本、高松、中島、山口(章)、田中(喜)、山田(美)、片山、田中(晃)、玉井樋口、佐々木、山田(富)、稲垣、早川、田中(栄)、中村(誠)、鷺山、清原
(一般参加4名)計 24名(敬称略)

- 配布資料
1. 第118回定例会議事次第
 2. 定例会話題資料:「防災情報のレベル化で人的被害を減らせるか」
 3. 定例会話題資料:「豪雨災害と避難スイッチ(NHKスペシャルより)」
 4. 「第14回コーディネーター養成講座」チラシ
 5. 「防災塾・だるまの今後」第1回検討委員会報告
 6. 秦野市防災指導員等研修会「災害初動期の共助活動」
 7. 第169回まちづくり談義の会次第(情報7月)
 8. TEAM防災ジャパン オフラインミーティング in 東京

- <配布チラシ>
1. 「松山順三氏との意見交換会(7/27(土))」: まちづくりネットワーク緑主催
 2. 「箱根火山の活動と防災を考える(9/7(土))」: 神奈川地学会・箱根ネットワーク推進協議会主催

【定例会意見交換】テーマ:「防災情報のレベル化で人的被害を減らせるか」(資料②)、「豪雨災害と避難スイッチ(NHKスペシャルより)」(資料③)・・・田中(栄)、山田(富)、山口(章)、稲垣、早川、玉井(主な発言者)

- ・従来の避難情報は、避難勧告と避難指示ではどちらの方が危険度が大きいのか、一般の人に分かりにくかった。岡山県真備町の水害では避難者が多かった一方、今年7月3日の鹿児島市では市内全域に避難指示が出されたが、多くの人が避難しなかったという現実がある。レベル化よりは、一人一人の人に個人の「避難スイッチ」を、持ってもらうことの方が大事ではないのか
- ・行政がレベル化しても事態は同じ、行政として住民全体が避難するような指示は出せない
- ・今回のレベル化は住民(受け手)が分かり易くということではない
- ・どういう問題があってレベル化をした、ということを住民に徹底することが必要。レベル化について住民にPRし、住民の当事者意識を盛り上げる必要がある
- ・私としては、単純化され意味が分かり易くなって、レベル化は大賛成で良かったと思う。資料③のとおり「避難スイッチ」の入った人は、“避難情報”だけでなく“環境変化の察知”と“他者の行動・語りかけ”という要因の複合があった。避難イコール避難所へ行くのではなく、一人一人が「避難とはその時々でより安全な場所へ移動すること」という認識を持つことが大事
- ・避難のレベルは行政と気象庁が出す情報が違っている。行政はレベル③(高齢者避難)を出したが、気象庁はレベル④(氾濫危険・土砂災害警戒情報)出した場合、高齢者だけが避難すれば良くて、それ以外の人は避難不要と思われる恐れがある
- ・マンションでは1階の住民は上階へ避難することにしている。レベル③で避難することにしないと、レベル④では全世帯が危ない。住民意識としては、行政の指示を待っているのは遅い
- ・真備町でも避難出来た地域はあり、住民が皆で逃げられる地域がある。“逃げない人がいたら、助ける地域にしていくこと”が求められるのではないのか

【報告事項】

- ・秦野市防災指導員等研修会について(資料⑥)・・・山田(美)、稲垣
10年計画で訓練・備えをしている地域、発災後時系列の訓練を実施する、避難所を地域の情報が分かる所に変更したなどの取組みが紹介された。感震ブレーカは役員が設置して回ることにしたら、設置率が10%から80%にも上がった

【主催・共催事業など】

1. 第14回「実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座(資料④)・・・中村
 - ・だるまチラシについてはHPに掲載
2. J-DAG、3BWGの活動・・・片山、中島、池田
 - ・城西大では7月11日実施、18日反省会を行った。今回、見学者として鶴ヶ島市役所職員・自

- 治会役員・大阪府大：遠藤准教授が参加。住民の中に外国人を入れたらどうかとの提案があり
- ・K-ZAG を 3BWG で紹介。防災めぐりパワーポイント版作成中、9月の談義の会で紹介予定
 - ・今後、実施したら参加者から報告書を出してもらおうようにしてほしい。記録を残す意味からも

【協力・参加・情報・その他】

1. 毎月の情報（7月分）（資料⑦）・・・情報提供をお願いします
2. TV 朝日ｽｰﾊﾟｰｼﾞｬﾝﾌﾞﾙ放送（7/27日（土）16:30～18）について・・・稲垣
 - ・TV 朝日が洋国団地をキーにネット検索。だるま HP から南笹野台自治会の取組みを取材。
3. 松山順三氏講演会（7/27（土））まちづくりネットワーク緑主催・・・田中（晃）、樋口
4. Team 防災ｼﾞｬﾝﾌﾞﾙﾌｧｲﾆﾝｸﾞ in 東京（8/3（土））（資料⑧）

【その他の報告】

1. 気象災害クロスロード（7/6）：神奈川県小田原合同庁舎・・・田中（栄）
 - ・33名（市議員4名県会1名含む）参加。小田原では被害は起きていないが水害の可能性はある
2. 災害ボランティアスタッフ養成講座（7/13・20） 話題：富士山噴火は被害ではなく地質について

【運営関係】

1. 会員・会計関係、HP・情報提供・・・中島、早川
 - ・会員数 122名
 - ・HP 可能な限り早期に更新しているので参照してください
3. 「防災塾・だるまの今後」第1回検討委員会報告（資料⑤）・・・片山
 - ・報告書は検討項目を記載しているが、第1回委員会は、何が問題なのか把握を始めたところ
 - ・次の総会（2021年）までに委員会として纏めるのが任務だが、未だ具体的な事は提案出来ない
 - ・8月役員会は休会となっているが、13日に第2回検討委員会を開催予定

【予定 談義の会・定例会・役員会】

1. 8月 定例会、談義の会および役員会は休会
2. 2019年9月例会 9月27日（金）会場：1号館308-1 月担当：片山、田中（晃）
 - ・3BWGプロジェクト 13:00-14:00 担当：片山
 - ・定例会 14:15-15:45 記録担当：中村
 - テーマ：「大地震による首都圏の最悪被害想定」について
 - ・第170回談義の会 16:00-18:00 記録担当：紅林
 - テーマ：「防災ゲーム3種紹介と、その1種のゲーム体験」 講師：片山 晋氏
 - ・役員会 9月10日（火） 10-12:30 851C
 - ・資料準備（当日） 9月27日（金） 12:30- 851C
3. 2019年10月11日（金）川崎市健康安全研究所 見学会&講演会 担当：田中（喜）、池田
 - ・施設見学会 30名（先着順） 13:15-14:15
 - ・第171回談義の会 14:30-16:00
 - テーマ：「感染症と危機管理について」 講師：岡部 信彦氏（川崎市健康安全研究所所長）
 - 場 所：川崎市川崎区殿町3-25-13 川崎生命科学・環境研究センター2階
4. 2019年10月例会 10月25日（金）会場：1号館308-1 月担当：稲垣、田中（喜）
 - ・3BWGプロジェクト 13:00-14:00 担当：片山
 - ・定例会 テーマ：「検討中」 14:15-15:45 記録担当：中村
 - ・役員会 10月1日（火） 10-12:30 851C
 - ・資料準備（当日） 10月25日（金） 12:30- 851C
5. 2019年11月例会 11月29日（金）会場：1号館308-1 月担当：山田（美）、高松
 - ・3BWGプロジェクト 13:00-14:00 担当：片山
 - ・定例会 テーマ：「検討中」 14:15-15:45 記録担当：中村
 - ・第172回談義の会 16:00-18:00 記録担当：紅林
 - テーマ：「学校と地域防災との連携」 講師：鷲山 龍太郎氏（地学会会員・だるま会員）
 - ・役員会 11月5日（火） 10-12:30 851C
 - ・資料準備（当日） 11月29日（金） 12:30- 851C

以上

（記録：中村誠）